

平成24年度学力向上に向けた取組

函館市立 えさん小学校 学級数 7

視点1：アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」（学びの連続性・学校内外の連携）をもった取組

重点教育目標

自ら考

え行動できる 心豊かな子どもの育成

A 各教科・領域等における系統性や、他の教科・領域等との関連に配慮する

B 長期的な見通しをもって、学習内容を確実に定着させる

C 校内研究の進め方を見直す

D 授業公開や外部への公開・発信を生かす

取組の概要

1 取組のきっかけ

- ・国語科においては、表現力（文章の記述など）が各種調査や学級に実態交流などから弱いことがわかっている。
- ・算数科においては、計算力や基礎・基本の定着をより図っていく必要性を感じ、特に、低学年からの系統性が重要である事が再確認された。

2 取組の位置付け

- ・朝学習 ・読書感想文 ・作文発表 ・放課後の定着タイム
- ・授業開始時の計算練習（算数）

3 取組の方法

- ・朝学習は教務が中心となり設定。内容に関しては、各担任にが学級の実態に合わせてプリントなどを作成してもらっている。
- ・読書感想文は教務が中心となり、全校児童の夏休みの一斉課題としている。本の選び方、感想文の書き方などは、担任にお願いしている。
- ・作文発表では、始業式・終業式を利用し、各学年2～3名の児童が、全校児童に向けて、頑張った事や楽しみにしていることなどを発表する。
- ・放課後の取り組みでは、担任と算数TTが中心となり、苦手な個所の復習を行う。週に1～2回程度だが、適宜行っている。
- ・授業開始時の計算練習では、その学級の実態に合わせて、確実に計算力が見に着くように3分程度の時間で、毎時間行っている。担任と算数TTが中心。

取組の成果と課題等

○ 取組の成果

- ・ 朝学習（火・木），朝読書（月・水・金）を継続している。
（成果）→ 漢字や基礎的な計算など，少しずつ力がついてきている。
- ・ 読書感想文，読書イラスト大会の全校実施。
（成果）→ 夏休み中の共通課題として読書感想文を全校実施した。さらに，図書委員会主催で取り組みを行った。学校事業としても「読み聞かせ」を地域の保護者に依頼し，低学年を中心に行っている。少しずつ，子ども達の読書に対する意識も高まってきていると感じる。
- ・ 作文発表の継続
（成果）→ 始業式や終業式，その他，高学年作文発表・低学年作文発表の日を設定し，全校児童の前で，作文発表を行っている。全体の前で話す力や聞く力がついてきていると感じる。また，高学年では，作文を読むというより，何も見ずに，自分の伝えたいことを話すといったスピーチのようになってきており，話す力がついてきている。
- ・ 補修学習
（成果）→ 算数TTと担任を中心に，計算力向上と理解力をあげるために，補修を行ってきた。また，夏休みと冬休みに補習授業を開催し，多くの児童が積極的に参加し，学習意欲を高めていくことができた。
- ・ 全学年による公開授業・小中連携の強化
（成果）→ 他の学年の様子や授業のきまりの確認，教科の系統の再確認ができた。また，小中連携を強化し，それぞれの考え方や指導法などを交流することができた。さらに，道外視察や様々な研究会に積極的に参加し，他校の様子について交流を深めていくことができた。

○ 教育課程検証の方法

- ・ 12月に，「家庭学習に関する意識調査」を自校と進学先である中学校で，保護者に対して，同時実施した。現在集計中が終わり，考察をこれから始める。集計の際には，わかりやすくグラフとして表す予定である。その後，小中でさらに考察を深め，保護者に結果を知らせていきたい。（教務）
- ・ チャレンジテストや様々な調査結果をもとに，次年度に向けて，さらにどのような取り組みが必要か話し合っていく予定である。（研究・教務）